

学習評価の進め方ワークシート（数学）

【「学習評価の進め方ワークシート」の使い方】

学習指導要領の改訂に伴い、評価の観点に3観点に整理されたことに加え、単元や内容のまとまりにおける評価が一層重視されるようになったことで、学校現場ではどのように生徒を評価したらよいか迷われている先生方もいらっしゃると思います。

そこで、具体的に単元の評価規準を作成したり指導計画を立てたりすることで、新しい評価における理解を深めていただくことを目的とした「学習評価の進め方ワークシート」を作成しました。

右に示した「新学習指導要領における学習評価の在り方」の資料や文部科学省国立教育政策研究所から公表された「※指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料等を基に、以下のワークシートの手順に従い、単元の評価を実施してみてください。

※「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料(<https://www.nier.go.jp/kaihatsu/shidouairyu.html>)国立教育政策研究所

新学習指導要領における学習評価の在り方
中学校数学

1 単元における学習評価の進め方
単元における観点別学習状況の評価を実施するに当たり、以下のように進めることが考えられる。

1 単元の目標を作成する
①については、学習指導要領の目標や内容、学習指導要領解説、生徒の実態、前単元までの学習状況等を踏まえる。

2 単元の評価規準を作成する
②については、①を踏まえ、評価場面や評価方法を計画する。どのような評価資料を基に、「おおむね満足できる」状況(B)と評価するかを考えたり、「努力を要する」状況(C)への手立て等を考えたりする。

3 「指導と評価の計画」を作成する
③に沿って観点別学習状況の評価を行い、生徒の学習改善や教師の指導改善につなげる。

4 観点ごとに総括する
④については、集めた評価資料やそれに基づく評価結果などから、観点ごとの総括的評価(A、B、C)を行う。

2 「主体的に学習に取り組む態度」の評価規準の作成方法
【中学校学習指導要領 第3学年 目標】

【第3学年】
1 目標
(3) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度、多様な考えを認め、よく問題解決しようとする態度を養う。

【学年別の評価の観点の趣旨 第3学年】
数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生か

Point!
当該学年の目標の(3)の主体的に学習に取り組む態度の「観点の趣旨」をもとに、指導事項等を踏まえ、次の文をま

()年 単元名 ()

1 単元の目標を作成する

<単元の目標> 学習指導要領解説を基に、単元の目標を作成しましょう。

2 単元の評価規準を作成する

<学習指導要領における単元の該当箇所> 学習指導要領から該当する単元の記載内容を抜き出しましょう。

()について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

<内容のまとまりごとの評価規準> 各教科の「新学習指導要領における学習評価の在り方」を基に作成しましょう。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

